

意見書案第 2 号

台湾のWHO年次総会へのオブザーバー参加を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年3月25日

福岡市議会

議長 伊藤嘉人様

提出者 福岡市議会議員

堤田 寛

勝山 信吾

中島 まさひろ

田中 たかし

津田 信太郎

尾花 康広

はしだ 和義

近藤 里美

淀川 幸二郎

堀本 わかこ

倉元 達朗

台湾のWHO年次総会へのオブザーバー参加を求める意見書

日台相互間の人的往来は年々増加傾向にあり、2019年の訪日外客数約3,200万人のうち、台湾からの訪日外客数は約490万人となっています。

このように、国際交流が進展する一方で、新型コロナウイルス感染症などの国境を越える感染症の蔓延など、世界規模の課題に対しては、これまで以上に台湾を含む関係各国・地域との連携が必要となります。

世界保健機関（以下「WHO」という。）憲章では、「到達しうる最高基準の健康を享有することは、人種、宗教、政治的信念又は経済的若しくは社会的条件の差別なしに万人の有する基本的権利の一である。」とうたっており、WHO年次総会へのオブザーバー参加について、台湾を排除することはこの基本理念に反するものです。また、特定の地域が取り残されることによる地理的空白を生じさせないことが、世界全体の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の目的にかなうものでもあります。

よって、福岡市議会は、国会及び政府が、台湾のWHO参加支持を表明している関係各国・地域と連携し、台湾のWHO年次総会へのオブザーバー参加の実現に向けての取組をこれまで以上に強化されるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、  
内閣官房長官 宛て

議長 名